

〇様邸垣根改修工事



2019年5月

東光園緑化株式会社

N0.1 今回使用した栗丸太(原木)柱材(ナグリ、仕上)

| | | | |
|-----------|-----|---|---|
| L= 3.0 末口 | 210 | 2 | 本 |
| L= 3.0 末口 | 180 | 2 | 本 |
| L= 3.0 末口 | 150 | 7 | 本 |
| L= 3.0 末口 | 120 | 3 | 本 |



使用道具

荒削りに使用した手斧 (ちょうな)
仕上げに電動カンナを使用(直、曲)

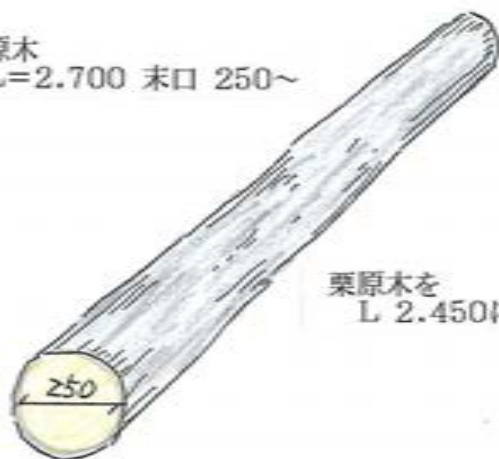


N0.2 現地で使用する柱材を工場にて加工

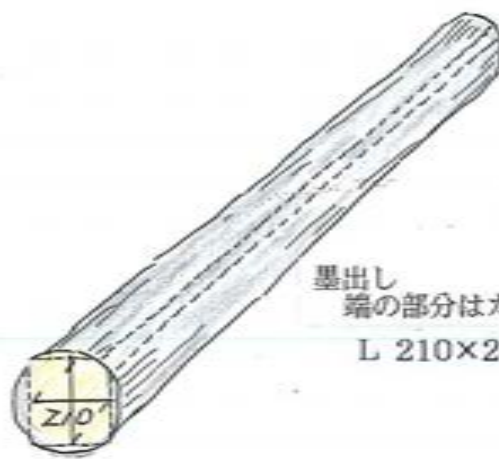


今回使用する光悦寺垣 L 6.000の支柱(栗柱ナグリ仕上げ)

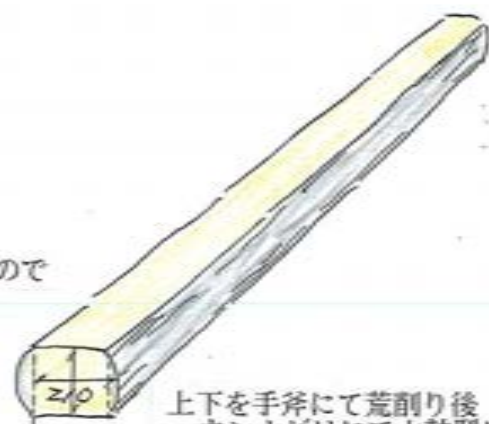
栗原木
L=2.700 末口 250~



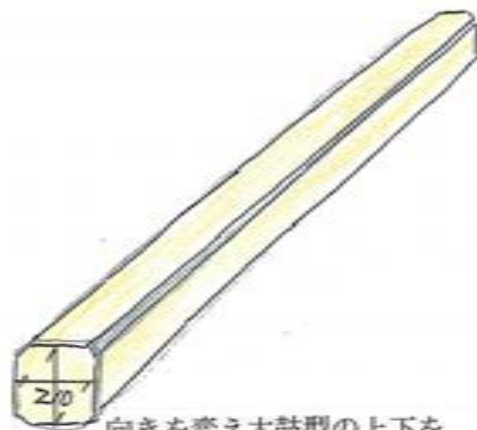
栗原木を
L 2.450にカット



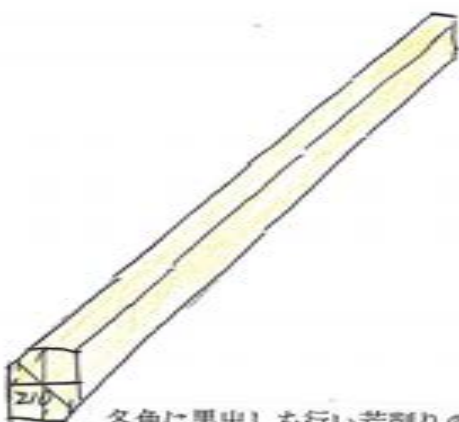
墨出し
端の部分はカットするので
L 210×210角の墨



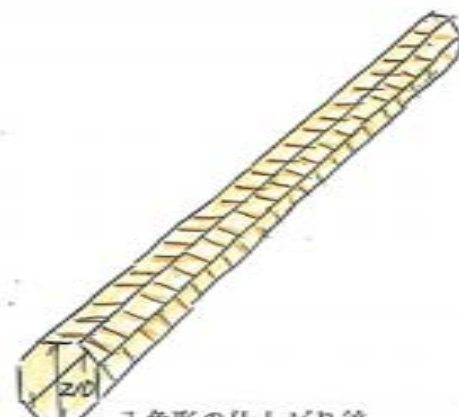
上下を手斧にて荒削り後
カンナがけにて太鼓型に仕上げる



向きを変え太鼓型の上下を
手斧にて荒削りしながら四角形に仕上げる



各角に墨出しを行い荒削りの後
カンナ掛けを行い八角形に仕上げていく



八角形の仕上がり後
曲面カンナにてナグリ模様仕上げていく













N0.8 現地にて社員のナグリの実習



光悦寺垣



押し縁竹
径10cm L8m 10本
径7.5cm L8m 1本
唐竹
径4cm L5m 20本
俊3m L4m 105本
真竹(青竹)
径3cm L4m 50本



エゴ丸太
L=3m
径3cm丸
16本



孟宗枝穂
L1,500
90本入 10束

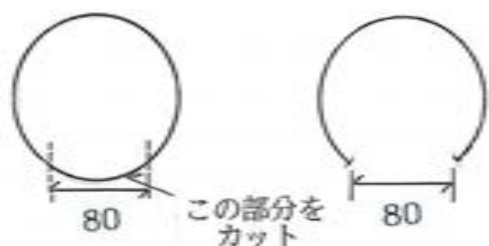


銅線10巻
#18 1kg
棕梠縄
(バンロープ)
L=300m
5巻

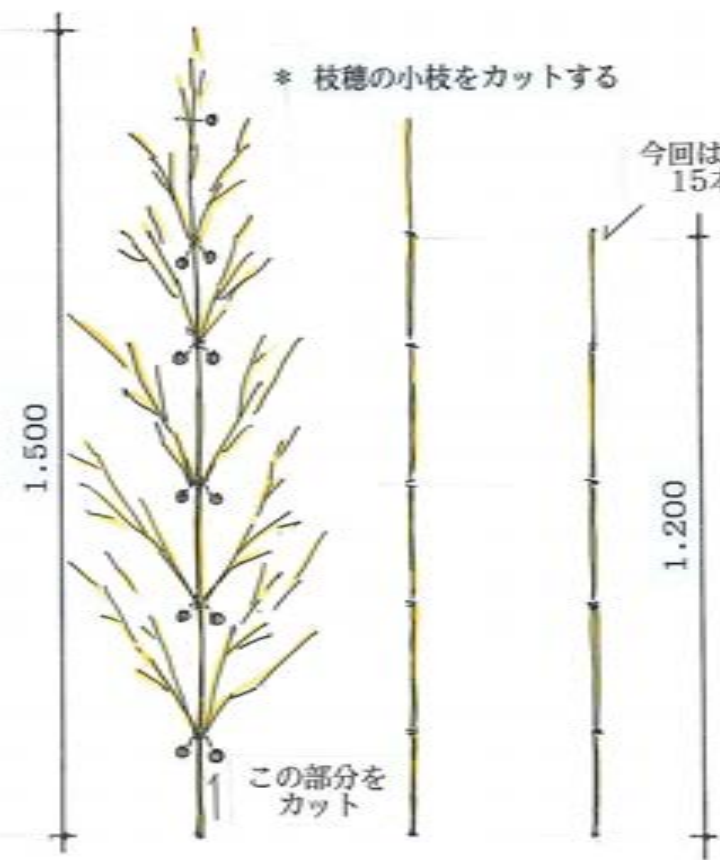
光悦寺垣 かまち(枠)作業

今回下地に使用したのはV.U 管 呼び径100 (かまち部分)
 垣根部分に使用する 唐竹 径40 2本合わせて径80

V.U管=4.000を2本つなぎし 6.000にカカット
 ゆるい曲がり部分はバーナーであぶり他はノゴ目を入れる



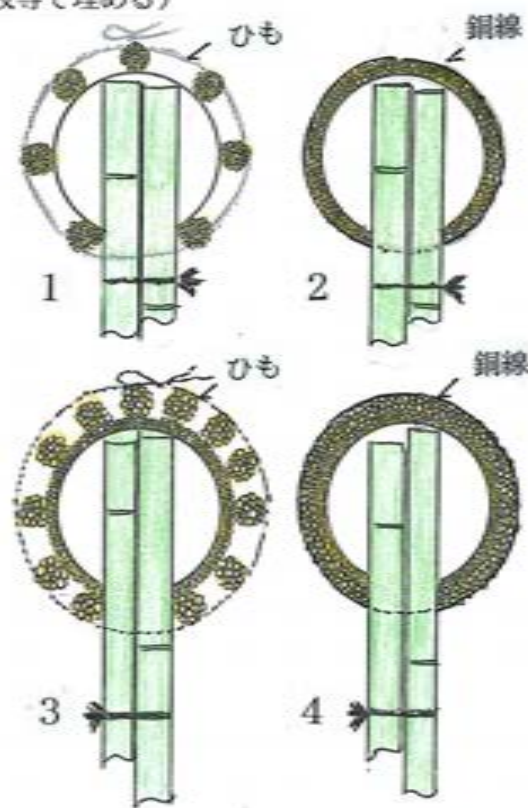
V.U 管に束ねた小枝を紐で束ね小枝の紐をほどきV.U 管に
 平均に巻きつける その上で厚みを一定にしながら銅線2本合わせて
 10~15cmの間隔で縛る
 (V.U 管の竹と竹との間は詰め物 小枝等で埋める)



孟宗竹枝穂
 今回90本入り10束

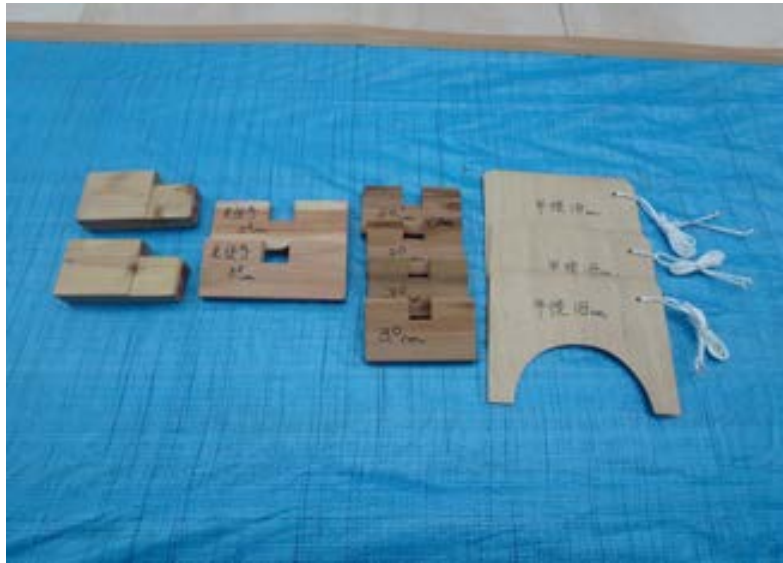


* はずした小枝は元を揃
 一握り(3.5~4.0)に束ねて使用



小枝の上に枝を巻いた要領で巻き
 20cmの間隔で銅線でしっかりと締める

寸法どり型色々と光悦寺垣ダボ



かまち(わく)部分の作業
仕分け作業と小枝はずし



孟宗枝穂の仕分け





使用材の小分け



小枝の小分け短い物は詰め物に使用



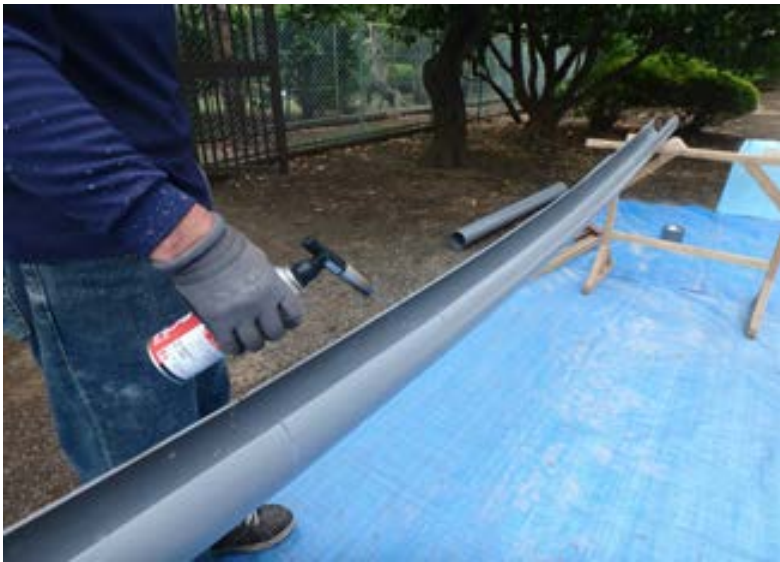
N0.12

V U管(薄肉管)

呼び径100(外径114 L =4.0m)を2本つなぎ
L =6,000~に1部を8cm幅にカット



ノコ目を入れて曲りやすくする



光悦寺垣の準備



現場にて原寸作業

原寸に合せヌキ板留めの上V U管を据付



原寸に合せ竹を組む



下地の小枝を仮留の上へ銅線巻き

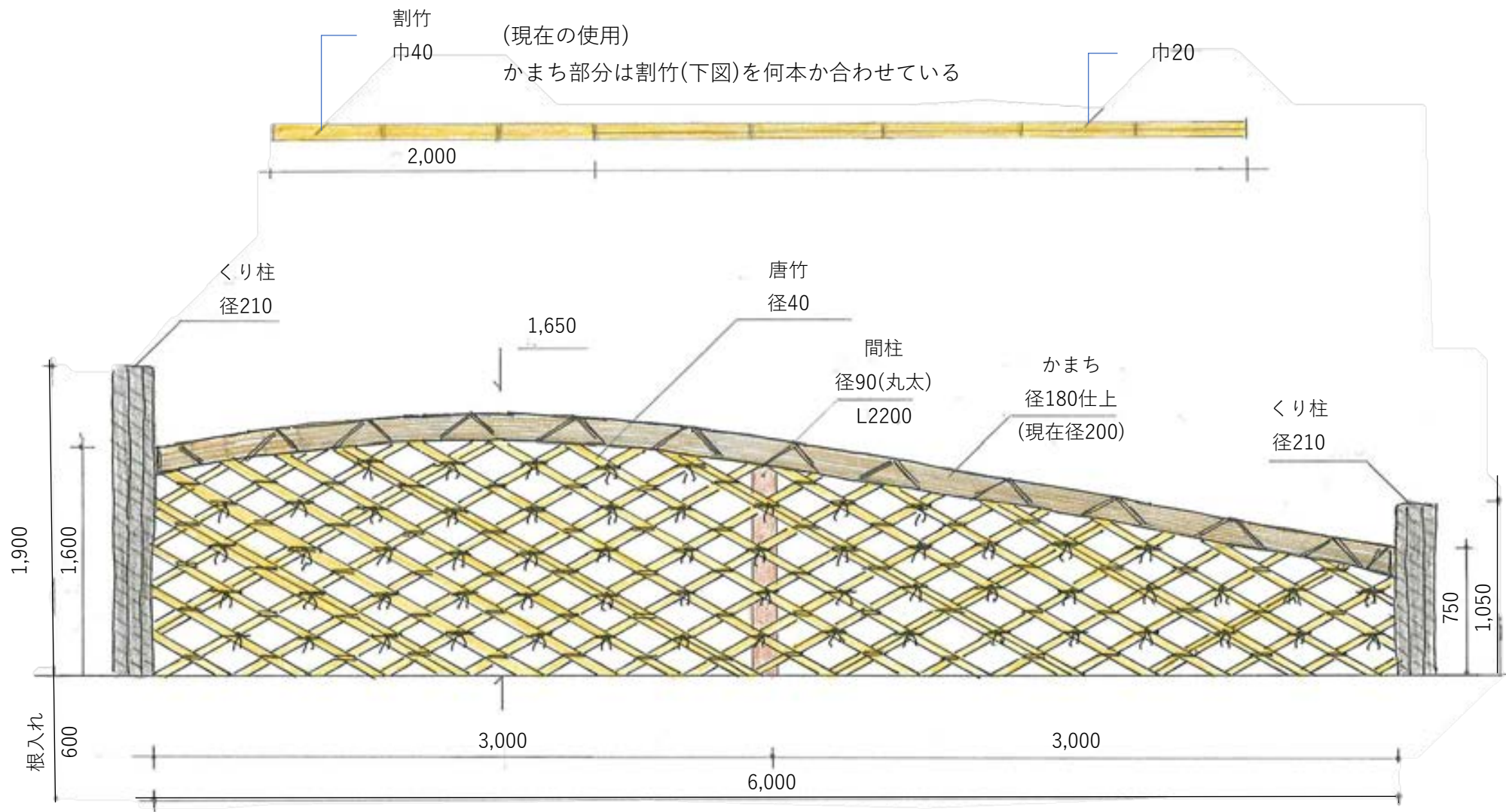


エンピ管のあいた所へ短い竹穂を束にして詰め込む

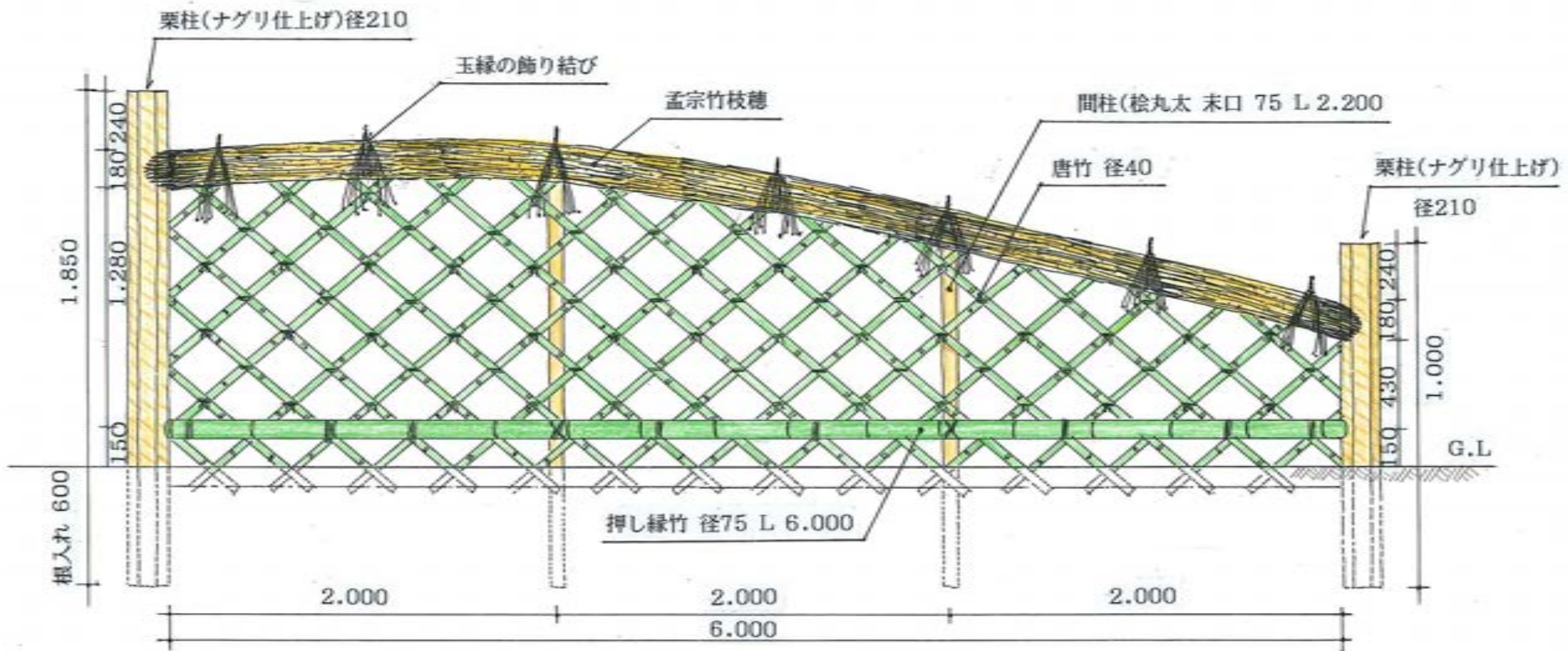
ここまで仕上げ現地で合わせる



既存の光悦寺垣の図



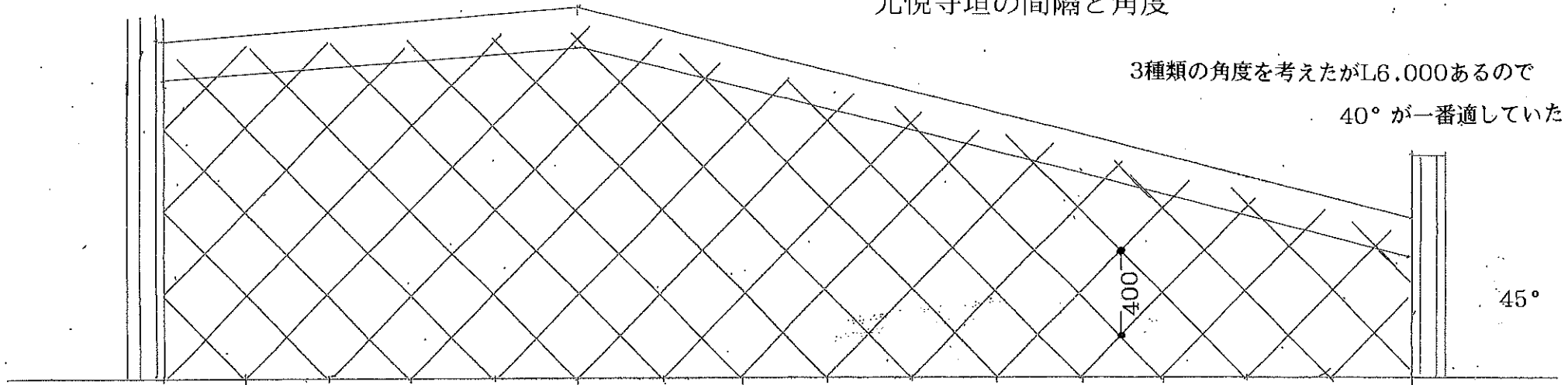
今回施工の光悦寺垣の図



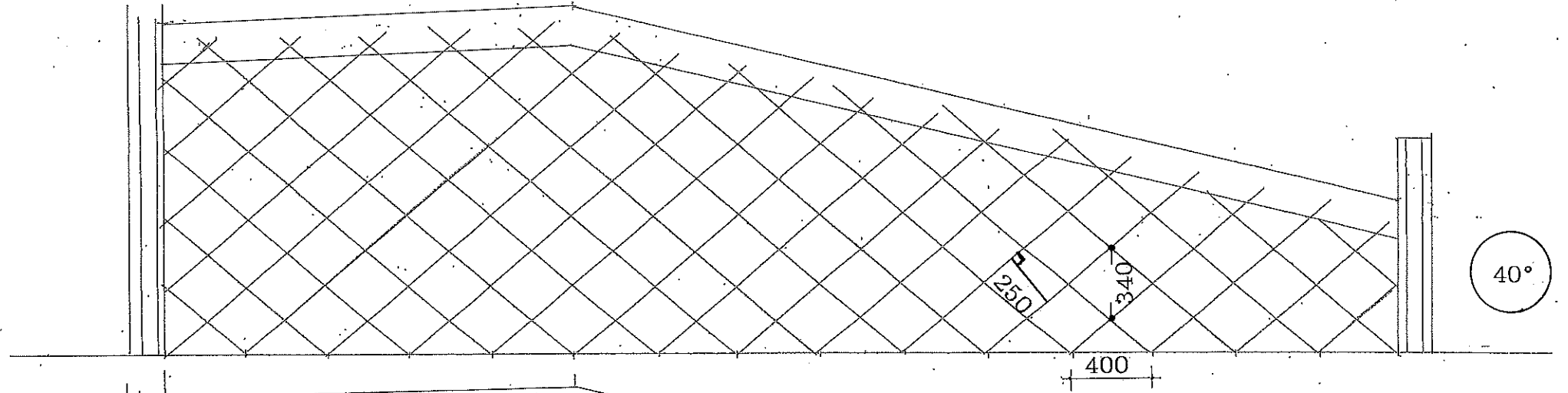
光悦寺垣の間隔と角度

3種類の角度を考えたがL6,000あるので

40°が一番適していた

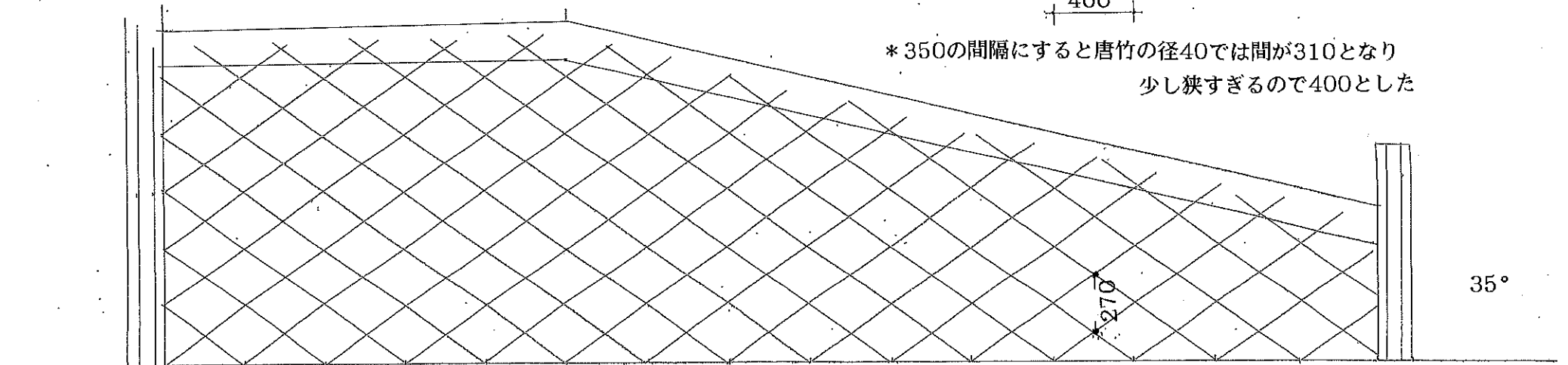


45°



40°

* 350の間隔にすると唐竹の径40では間が310となり
少し狭すぎるので400とした



35°

光悦寺垣(改修前)



既存光悦寺垣取り毀し



位置出し及び掘削



柱位置出し及び堀削



建柱



栗柱にかまちのささえのダボ打ち込み



柱の両端に竹を固定作業



間柱の位置出し掘削



柱に小枝の巻きつけ



小枝の巻き付けの太さを最終仕上げ



小枝の余分な部分をハサミにて仕上げ



下部の押し縁結束



かまち部分の小枝の巻きつけ完了



かまち部分の仕上作業

材料の準備



柱カ所の竹の切り直し



竹の巻き付け状況



柱部分切り直し完成



最終的に太さをチェックし再度しめ直し

玉飾り作業



枝の調整



仕上げ作業



かまち部分完成



庭からの光悦寺垣





玉飾のさがりの部分は長めに切り
見た目で一番きれいな長さに統一



表からの光悦寺垣完成



カヤノキの枝を根元より除去



地被類およびアオダケナツハゼを植つけ完成



みす垣



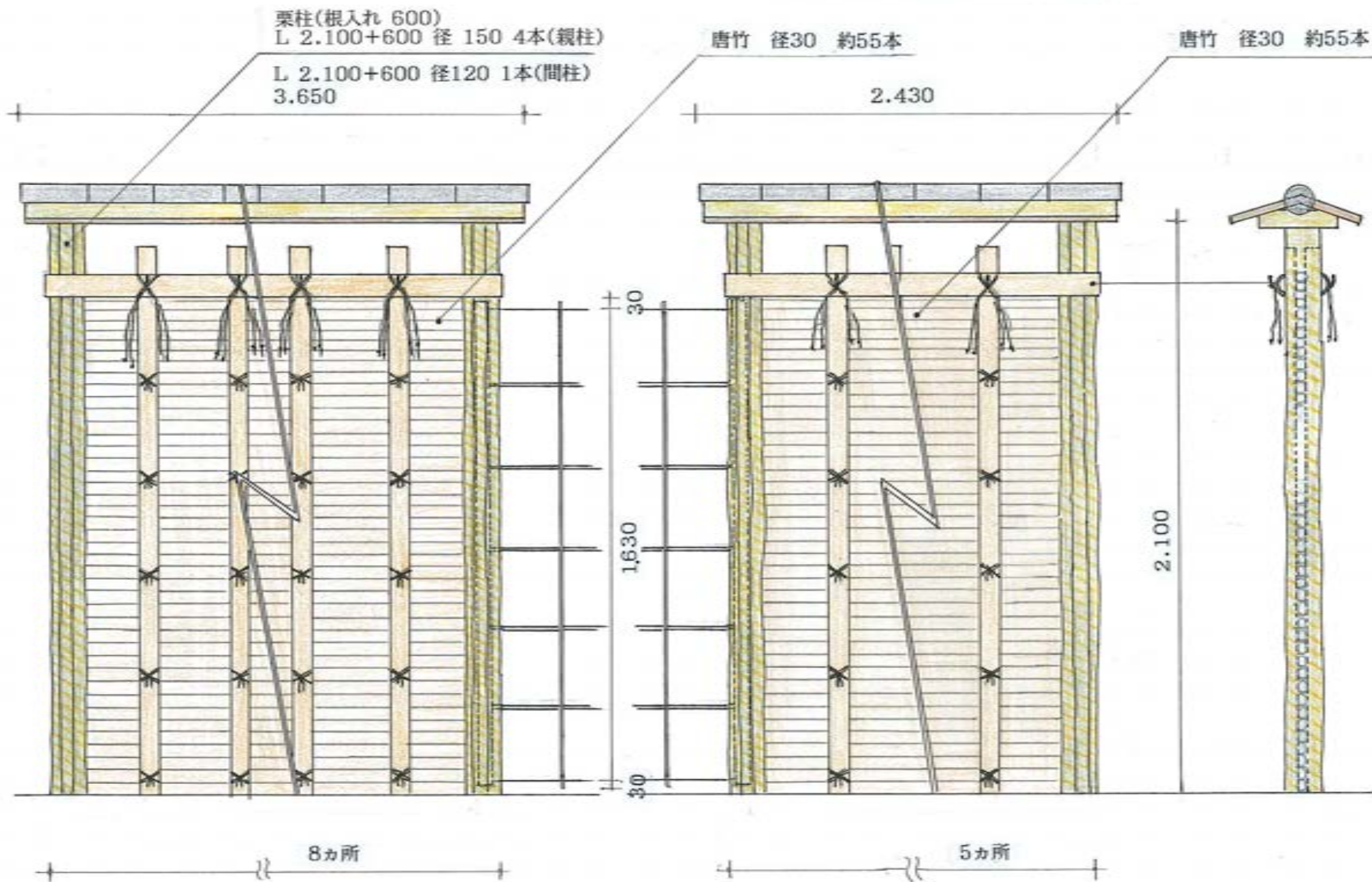
N0.1 みす垣(改修前)



改修前のみす垣図

今回・改修後の形状はほぼ同じ
唐竹が少し細くなり本数が増えた

又 ポイントとしてエゴ丸太を取り入れた



N0.3 取り壊し作業







柱建て状況



N0.6 唐竹 径30 段取り 溝に合せ

L 3,500にカット



元、末と節が合わないように取りつけ



押し縁竹



N0.7 巾をそろえるため電動ノコにて縦割り



切断面の仕上



押し縁の割り付け



N0.8 今回のポイントとしてエゴ丸太を垣根の中に取り入れ



銅線にて結束





銅線結束ヶ所に棕梠繩にていぼ結び



N0.10 屋根材加工



N0.11 みす垣屋根部分の取付



N0.12 屋根部分一文字瓦の取付け







N0.15 みす垣 裏玄関側













庭木戸加工





庭木戸完成





庭木戸完成





庭木戸完成



袖垣



N0.1 袖垣(改修前)

玄関に向かって右側



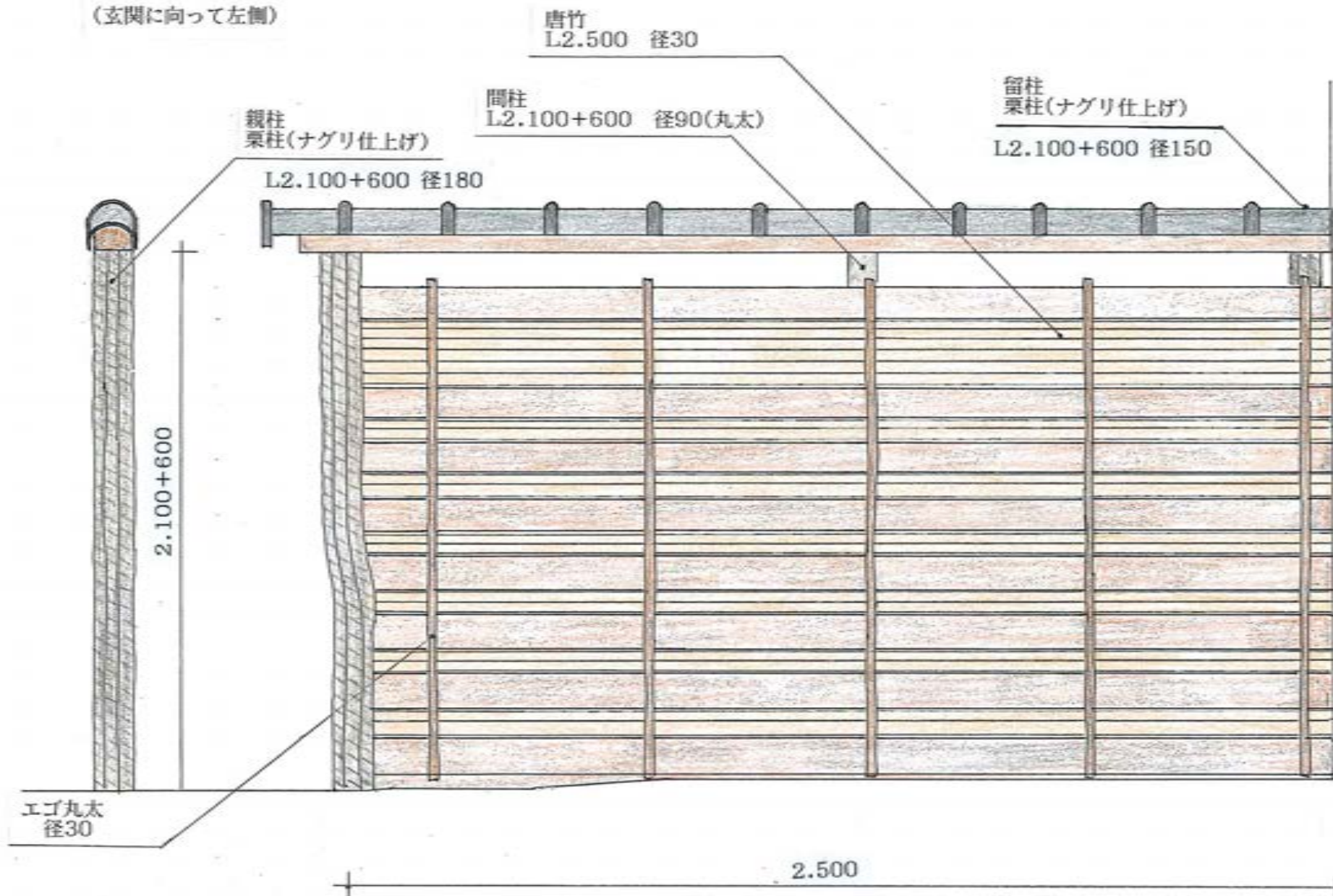
玄関に向かって左側



改修前の袖垣図

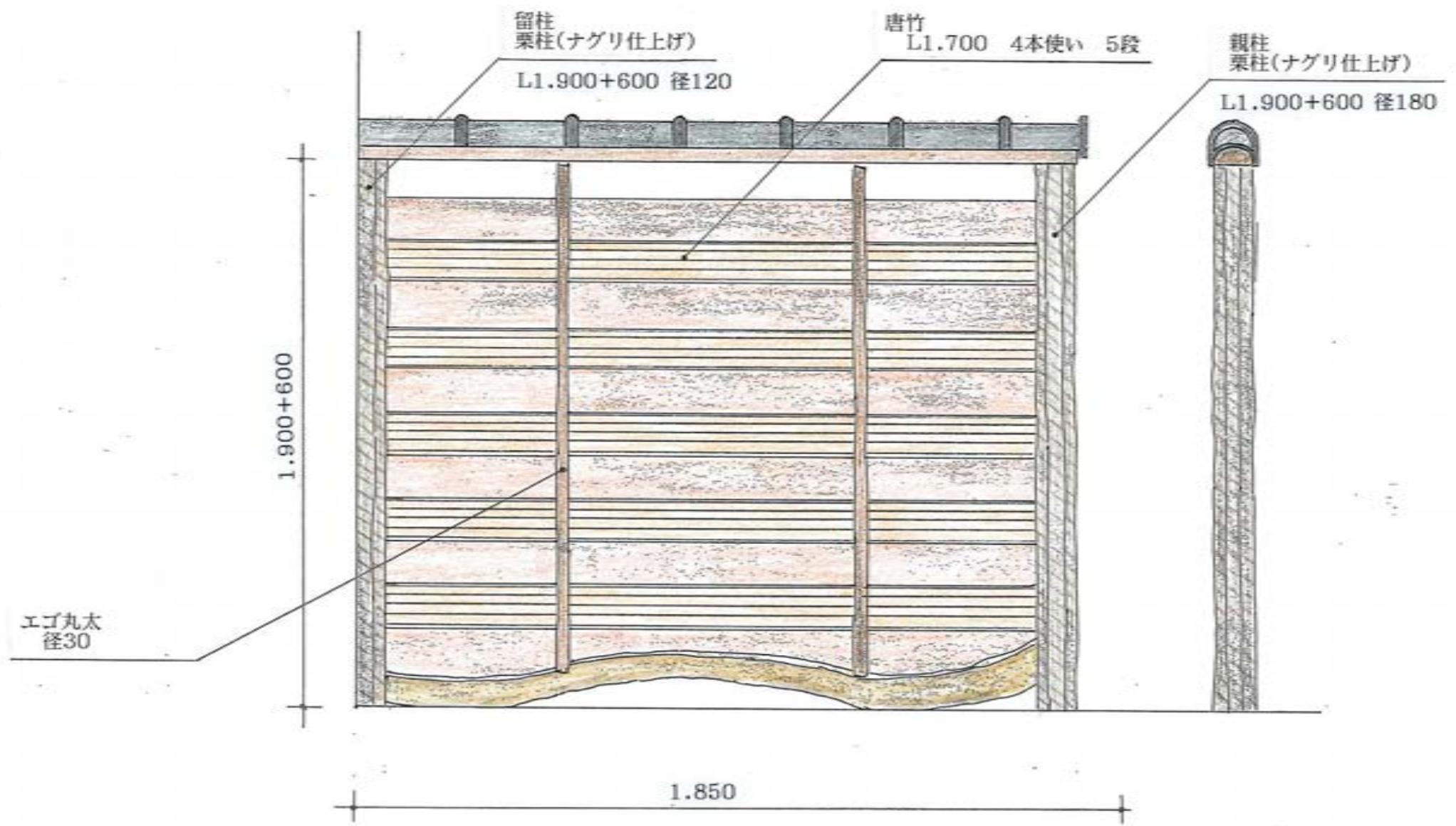
(玄関に向かって左側)

今回の袖垣は形状はほぼ同じで
間に入れる唐竹の数量がちがっている



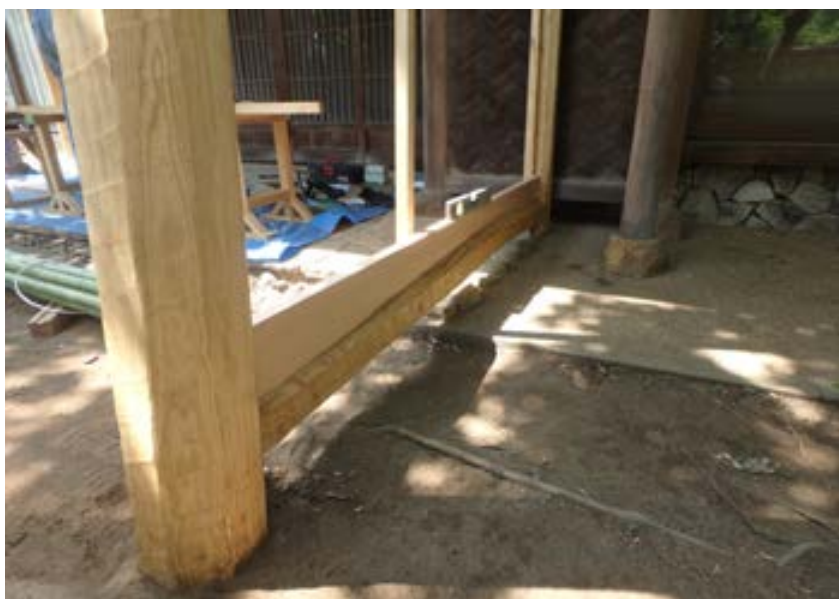
改修前の袖垣図

(玄関に向かって右側)



N0.5 袖垣瓦取りはずし後清掃















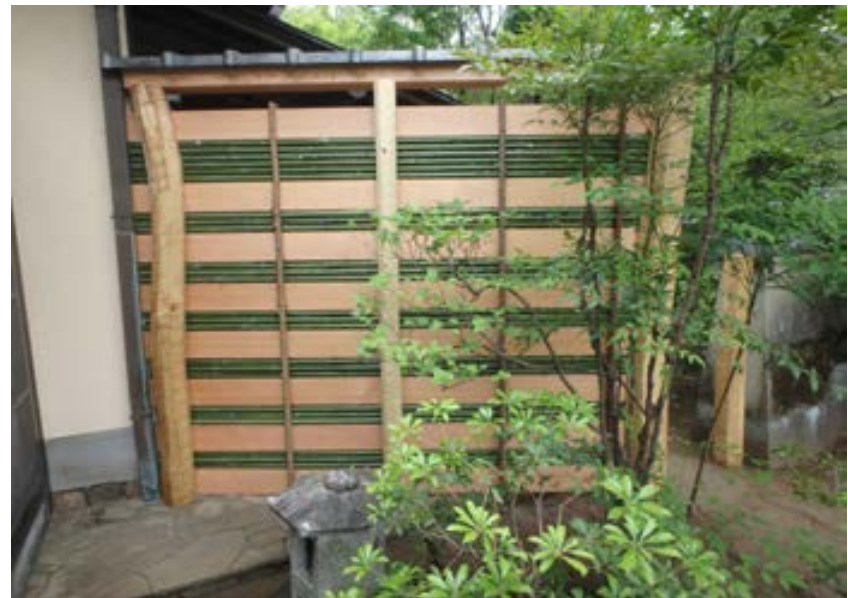
防腐剤処理





格子戸制作





蹲踞(つくばい)



N0.1 蹲踞(つくばい)

推積した土の取りのぞき、清掃作業





N0.3 笥の柱(栗柱ナグリ仕上げ)

作業中



完成品と笥に使用する竹
L 6000、径60
の内、今回は約3,000 使用





高さの調整



柱廻りの植栽(ウメモドキ)







N0.1 既存四ツ目垣撤去作業

建柱及び作業状況



撤去後



